



吉備中央町

# 議会だより

第53号

平成30年10月20日発行  
発行／岡山県吉備中央町議会  
〒716-1192  
岡山県加賀郡吉備中央町  
豊野1-2  
TEL.0866-54-2081  
FAX.0866-54-1366  
編集／議会広報編集委員会

全国の待ってくださる皆さんへ  
今年も美味しいお米をお届け！



## TOPICS

- 9月定例会 ..... 2
- ここが聞きたい ..... 4
- 追 跡 ..... 13



# 岡山県農業共済組合(仮称)が誕生 (県内の農業共済組織が一組織化)

## 9月定例会

9月議会は9月3日開会。固定資産税の特例に関する条例など条例改正2件。農業共済の岡山県一組織化に対応するための規約変更、29年度一般会計、特別会計決算の認定など11議案と、発議、諮問、同意など18件が上程された。上程案件をいずれも原案どおり可決し、19日閉会した。

### 条例改正等(主なもの)

◎ 地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正

**問** この条例によって本社を町に移転した企業があるのか。

**答** 今までには本社移転はない。今後一社でも来てもらえるようPRをしている。

◎ 高梁地域事務組合規約の変更

「農業災害補償法」を「農業保険法」に改め、「農業共済事業」の次に「及び農業経営収入保険事業」を加える。

### 29年度一般会計並びに各特別会計の決算の認定

決算の認定は慎重審議のため、特別委員会を設置して審議する。

### 決算特別委員会委員

(委員長) 西山宗弘  
(副委員長) 丸山節夫  
森下誠一 山本洋平  
石井壽富 河原正一

### 29年度財政健全化判断比率は。

実質公債費比率 10・8 (25・0)  
将来負担比率 40・4 (350)

( ) 内は早期健全化基準

### 30年度一般会計補正予算

**問** 学童地域支援事業716万円は、放課後児童クラブの障がい児受入などの追加補正と思うが、額が多いのでは。

**答** 放課後児童クラブの委託費で、現在7

クラブが運営、今回、障がい児受入事業の実施、開設時間、日数の増加、学校、保護者連携強化で常勤職員

**問** 農業振興センターのエアコン改修費は老朽化が分かっていたのら当初予算で組むべきでは。

**答** 当初予算で4台改修したが、今回13台が一度に故障したため一括計上した。

**問** 小学校費の修繕費は、雨漏りの修繕と、トイレの修繕と聞いたが、設備は事前に確認をした上で、当初予算で計上すべきではないか。

**答** 雨漏りは西日本豪雨から激しくなり計上した。トイレは浄化槽の排水管、

弊が不調で根本的に改修。

**問** 農家民宿の宿舍整備費100万円は、当初予算では観光費として2500万円だが、窓口はどこか。また、農家民宿の件数は。

**答** 農家民宿推進協議会に加盟するのは10戸。この協議会に加盟されている方、新たに農家民宿を始める方に事業費1/2(上限50万円)で補助をおこなうもの。

### 教育委員会委員の任命

前田 文男氏(全員同意)

### 陳情

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度1/2復元を図るための、2019年度政府予算に関する意見書

採択 (全員賛成)

# 8月臨時会

平成30年第3回臨時会は8月10日開会。条例改正1件、契約の締結、指定管理者の指定、一般会計補正予算が上程され、可決した。

## 町有住宅条例改正

◎PFI法により建設を進めている定住促進住宅整備事業に伴い、新たな町有住宅の設置、使用料を設定する条例。

**問** 今回の町有住宅の入居条件（所得制限、町内への住民票の有無など）はどのようになっていくのか。また、月額使用料の算定基準は何か。

**答** 今回の町有住宅は所得制限は設けていない。また、住民票の有無も問わない。町内外の若い人に住みやすい場を提供することににより、人口増に繋がっていききたい。入居条件は設けていないが、生活の主体である場所に住所を移してもらえよう促したい。



民間の力を借りて、誰でも入れる住宅づくりが始まる（イメージ図）

使用料は近隣市町村の市場価格、町内にある民営住宅の価格を参考に設定した。今後、社会の動向などを考慮しながら適切な価格設定になるよう心がけたい。

## 住宅整備事業の契約

◎PFI法による定住促進住宅整備事業に関する契約が締結された。

①契約の内容  
本事業における町有住宅整備及び附帯施設のH61年3月まで30年間の維持管理運営

②契約額  
5億1086万4476円

③契約の相手方  
（株）PFI吉備中央町住宅代表取締役 梅村俊寿

**問** 30年間という超長期契約であるが相手方の特別目的会社（以下SPC）は安定した運営、経営ができるのか。また、今回のプロポーザル方式での公募では、優先交渉者と次点交渉者の違いは何だったのか。そして公募で提案さ

れた内容がきちんと実行されるのか。

**答** 契約者のSPCは構成員、金融機関との連携など、厳選に調査され設立された会社ではあるが、有事の際は町が運営を引き継ぐ。

公募の提案内容は子育てや安心安全、入居者への配慮、長期の維持管理計画などが明確で際立っていた。提案された建築内容などをきちんと実行してもらいたい。



事故なく工事が進むように

## 公の施設の指定管理者の指定

◎町有吉備高原住宅の指定管理者として、（株）PFI吉備中央町住宅が指定された。期間はH31年4月からH61年3月まで。

## 町有吉備高原住宅 月額使用料

A棟一般	61,000円
A棟バリアフリー	56,000円
B・C・D棟	65,000円
S棟	40,000円
駐車場 1台につき	3,000円
2台目からは	2,000円

## 一般会計補正予算

◎7月豪雨災害復旧関連を主に5億2892万円が追加補正された。

**問** 災害復旧関連の予算措置を求める臨時議会がなぜ迅速に開会されなかったのか。

**答** 災害復旧に際しては当初予算の範囲で対応した。民間業者の迅速での確な対応により最善の方策がとれた。

臨時議会の開会時期は、町民に不都合があったとは捉えていない。



# こじごが聞きたい

## 8議員が一般質問

質問の順番はくじ引きによる

### 9月11日

ページ	議員名	質問項目
5	黒田 員米	公共施設へのエアコン設置 防災対応
6	山本 洋平	7月豪雨災害 自治組織再編 地方創生推進交付金
7	森下 誠一	健康診査 全国学力テスト 小学校、保育園、幼稚園のエアコン
8	日名 義人	豪雨災害 学校現場の熱中症対策 地域おこし協力隊
9	山崎 誠	災害対応

### 9月12日

ページ	議員名	質問項目
10	草地 博	7月豪雨災害 道路行政 岩倉公園
11	丸山 節夫	農業振興 介護保険制度の取り組み 学校教育環境
12	西山 宗弘	災害対策本部 予算執行等 公共交通のあり方 (ほか4件)

一般質問とは、町の政治・行政全般にわたり町長の方針や見解、説明を求めるものです。





黒田 員米

## 問 学校へエアコン設置を

## 答 全小学校へ設置したい

**問** ①気象庁も災害と呼ばれる今年の酷暑を考えると、エアコン未設置の教育施設に早急にエアコン設置をするべきではないか。

②地域の活動拠点である集会所へのエアコン設置に補助金創設をすべきでは。  
③冷房の効いた公共施設の積極的開放で、暑さを皆でしのぐクールシェアへ取り組むべきでは。

**答**

山本町長

①私たちが子供であった50年前と気象や環境は大きく変わった。教育現場からもエアコン設置要望が上がっており、子供たちが安心して学べる環境づくりを進めるべく本年度中に設計をおこない、来年度には町内小学校9校全ての普通教室にエアコンを設置したい。  
②集会所へのエアコン設置補助は、地域のコミュニケーション活動を安心・安全かつ円滑におこなうためにはエアコン設置も必須。設置補助は前向きに検討する。

③クールシェア施設として来年度は、図書館を中心に住民への周知をしたい。

### 防災対応の課題

**問**

①西日本豪雨における町の災害対応の課題や改善点は。

②交通手段を持たない住民の避難所までの移動手段確保は。  
③町の教育部局職員も災害対応へ要請を。  
④地域づくり団体、自主防

災組織など住民の力を積極的に活用すべき。  
⑤災害弱者への対応と福祉避難所との情報共有は。  
⑥地域版タイムライン導入を。  
⑦自主防災組織の育成、設立支援は。

**答**

中西総務課長

①通行不能により職員の避難所へ追加派遣の遅延、物流の寸断による避難所への食糧配送の遅れなどの事態が発生した。今後は地域や避難者自身による避難所運営や、併せて停電時での災害対応を検討する必要がある。  
②町、消防団による移動支援にも限界があるため、今後は地域で支えあう体制づくりを推進する。  
③保育士、

④積極的な連携を図る  
⑤現在、災害弱者の情報は災害対策本部、警察、民生児童委員協議会へ提供している。民生委員へは避難の声かけと併せて移送もできる範囲内で依頼をしている。今後は自主防災組織との連携を密に図る。  
福祉避難所担当者へは必要に応じて災害弱者情報の共有をおこなう。

**答**

総務課長

⑥行政としてタイムラインを早急に導入。地域に対しても導入を推進する。  
⑦今後は各自治会へ防災組織設立支援を文章で依頼。併せて先進組織の活動事例紹介や、基本的マニュアル提示などで支援する。



エアコンがあると、勉強が良くできるなあ！



## 避難所の指定は適切か

### 最寄りの避難所を指定した



山本 洋平

#### 問

7月豪雨災害の被害復旧は被災箇所も多く広範囲であるため復旧には時間を要する。住民からの復旧申請には適切な対応ができているのか。

また、多くの住民の避難所となった下竹荘公民館は、川の合流地点であるが、今回以上の豪雨が起ると想定して町内のほかの避難所も含め、安全であるかどうかの調査が必要ではないか。

#### 答

山本町長

豪雨災害の国庫災害復旧事業は11月までの日程で計画されている、道路などは査定前工事での対応もおこなっている。豪雨災害を受けて新たに農地農業用施設災害復旧の補助金制度を追加した。住民に活用してもらうためにも、現場へ出向いたり詳細な説明をおこない、早期復旧に取り組んでいく。

洪水、土砂災害、地震、火災の全てに対応できる町内避難所は20カ所を設定しており、下竹荘公民館もその内の1つである。7月豪雨を超える雨量の場合は浸水の可能性も否定できない。しかし、住民最寄の公民館であり一定期間の避難生活が十分可能であるた

め1次避難所に指定している。災害の種類や程度により適切な避難所の開設を今後もしていきたい。また、町内の河川には浚渫が必要箇所が多くある。県も重要事項と捉えているので強く要望していきたい。



誰もが地域を守る体制づくりを

#### 問

### 自治組織再編

住民一人ひとりが生きがいを持って暮

#### 答

町長

町内に新しく設立された自治会は、町広報紙の新自治会誕生というコーナーで紹介している。特に防災活動や地域福祉に力を入れている自治会の取り組みなども紹介していきたい。先進自治組織の方にコーディネートをお願いすることも考えていく。何のための再編なのか、持続可能な地域づくり、その必要性を再度説明していきたい。

#### 問

### 地方創生推進交付金

首都圏の1都3県から移住して起業す

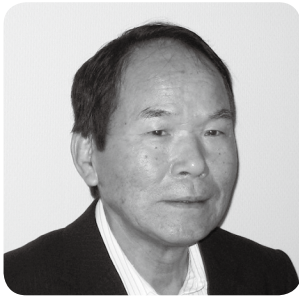
#### 答

町長

国の地方創生における地方への人の流れづくりは、現在も東京一極集中に歯止めがかからない。その対策として来年度の国の予算要求に計上しているが、具体的な内容は示されていない。町としては政府の方針を地方創生に向けて一歩踏み込んだものとして大変評価している。県とも情報交換しながら、交付金の活用について前向きに検討する。

る人の支援策として地方創生交付金を活用し、起業の必要経費を支援、また地方の女性や高齢者の起業、就労も支援していく方針を政府が固めた。賛否はあるが地方への移住のきっかけの1つになると考える。事業承継、若者人口減少、働く場所の減少など中山間地域である町には喫緊の課題である。この制度を有効に活用してはどうか。





森下 誠一

## 問 健康診査は十分な状況か

## 答 集団検診と個別検診を実施

**問** 町民の健康診査は健康管理に十分な状況にあるのか。また、町がおこなう集団検診や特定検診などが、医学の進歩に付随しているのか。

**答** 大木保健課長

特定検診は、特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準に定められている、基本的な検診項目及び医師の判断により、詳細な項目に加え町独自で検診項目を追加し実施、受診者の利便性を考慮して集団検診と個別検診をおこなっているが、内容は最近のところ変わっていない。

**問** 集団検診で、高齢者でも受診可能な、時代に即応した検診内容を組み入れるべきでは。

また、特に高齢者の多くは年金生活だが、近年は年金から多くのものを差し引かれ、厳しい生活を強いられている。ある自治体では、ワンコイン検診（500円）を実施したところ16.8%受診率が増えたところとで、ぜひとも前向きな検

討をするべきでは。

**答** 保健課長

ワンコイン検診は資金問題を検討しなければならぬ。がん検診は非常に医療方法が進んで、ここ数年で大きな改善がなされ、検診の方法も進み、すばらしい検診が確立される。



受診率向上がこれからの課題

**問** ヒロリ菌感染は幼児期の感染で、以降はあまり感染しないとのことだが、保育園、幼稚園での感染ルートへの対応はできているのか。

**答** 保健課長

ピロリ菌感染は、免疫機能が十分に発達していない5歳くらいまでの幼児期に感染することがほと

んど。町内の保育園、幼稚園などでは保育士、職員などが研修によって知識を得ており、感染を防ぐことができている。

### 全国学力テスト

**問**

全国学力テストで、17年度の町内小中学校は好成績で評価ができた。年々上向くと期待していたが、18年度は非常に厳しい状況のようだ。小中学校の状況を尋ねる。

**答** 津島教育長

小学校の国語と理科では全国平均を上回ったが、算数では全国平均を下回った。国語では漢字の読み書きと、ことわざの正答率が高い。算数では足し算、引き算の正答率が高いが、百分率を求めるなどの割合に関する設問でつまづく児童が多かった。

中学校では国語、数学、理科ともに全国平均を下回った。国語では漢字の読み書きなどの言語に関する正答率が高いが、数字の関

数や方程式の問題でつまづく結果となった。小学校の国語、理科では全国平均を上回ったが、それ以外の教科では全国平均を下回る結果で残念な思い。

**問**

小学校では国語、理科が全国平均よりは少し良いだけで、今一度頑張ってもらいたい。中学校では勉強以外の問題が影響、その辺も解決し、上向く方向に努力してほしい。

この結果を踏まえて、今後の指導方針は新たなものを取り入れる方向性があるのか。

**答** 教育長

これまでの取り組みを検証し、自校の結果分析や、授業改善の取り組みの検証、方向性の確認をおこない、各校の学力向上改善プランの作成と、その実践を指示した。

そのほか「小学校、保育園、幼稚園のエアコン」について質問した。



## 問 今後の災害避難対策は

## 答 地元の協力体制づくりを



日名 義人

**問** 地球温暖化を感じさせた豪雨災害が発生し、国の対応も根本が問われよう。

自治体は、住民の安全確保に責任を持つ役割がある。本町も過疎高齢化の進行と土地柄から来る災害の特徴があり、両面から考えた対策に直面している。

8月実施の庁内反省会の特徴点を聞く。

**答** 山本町長

特別警戒体制下で避難所2カ所を開設し、非

常体制移行で10カ所追加設置した。幹線道路が通行不能となり、物流が停止したため食料の調達が困難になった。さらに累積雨量120ミ、時間雨量20ミで避難所へ職員の追加派遣が危険になった。今後は、地元や避難者による避難所運営などの協力体制づくりが必要である。また停電対策や避難者の立場に立った配慮などの意見があった。

**問**

要支援者台帳に基づく対応はどうだったか。

**答** 石井福祉課長

台帳とのすり合わせはできていないが、最初の豪雨時は、要支援者6人の対応ができた。

**問**

要支援者は、「ま

の避難所・避難場所へ近所誘い合わせて」といった対応が必要では。

**答** 町長

真備町では、訓練どおり裏山の寺に避難した例があったと聞く。自治会でも地元避難場所確保に努めてほしい。

**問**

復旧支援だが今回国は「法律の弾力運用」を実施し、県も支援対象を農業施設として多くの市町村が「上乗せ支援」しているが、町の適用は。

**答** 中西総務課長

国の災害救助法が本町にも適用されたが、幸い半壊以上の住家被害はなく、見舞金を実施した。それ以上の可能性は研究を進める。

### 学校現場の熱中症対策

**問** 今年の異常な猛暑下で「熱中症」が続出した。文科省も学校環境基準を見直し、補助も充実した。

学校現場の実状、児童生徒への配慮、クーラーの設置状況による今後の設置計画を聞く。

**答** 津島教育長

学校内での被害報告はないが、バレーボール教室参加の小学生が病院に搬送されたケースがあった。

加賀中のクラブ指導では、こまめな水分補給と休憩の確保、水まきなどを実施している。また、ミストの設置もしている。

クーラーの設置状況は、中学校では設置済みだが、全小学校の未設置教室が65室程度ある。予算額は8千万円程度で現在、補助申請中。不足額は起債でと考えている。

### 地域おこし協力隊

**問** 地域おこし協力隊は、全国で約5千人。内6割が定住との情報に接した。本町でも人材派遣センターと契約実施から一定期間が経過した。公営塾は別としても現状の実績は寂しい。

**答** 杉原協働推進課長

成果として定着するには時間もかかるが、地域資源の再生など新たな視点でやってくれらると思う。マルシェ、観光ではポタリングツアー、道の駅のレンタサイクル、また、地域資源活用の水車米、地ビール開発などの取り組みが生まれているが、実績が出ていない苦しい状況だ。隊員とともにこれまでを振り返って今後を考えたい。

人材派遣センター経由の隊員募集の件の質疑は時間切れで終わった。





山崎 誠

## 問 災害招集は一般行政職のみか

## 答 事態の状況によって拡大する

**問** 7月西日本豪雨は、最大の危険を示す「大雨特別警報」が発令され、町内でも累積330ミを超える雨量が観測された。幸い人的被害はなかったものの物的被害は1200カ所以上に及び、12カ所の避難所が設置された。

災害予測により、注意、警戒、特別警戒、非常の各体制がとられるが、体制移行に問題はなかったか。職員招集範囲は一般行政職のみで良いのか。

**答** 山本町長

7月5日午後3時39分「大雨洪水警報」が発令され、直ちに警戒体制をとり順次体制強化をおこなった。おおむね適切に移行できた。今回の招集範囲は、保育士、幼稚園教諭を除く全正規職員と特別職149人である。招集範囲は災害事態の状況によって随時判断する。



離れた家族のためにも避難所へ

避難所は適切に指定を

**問**

避難所及び避難場所41カ所がリストアップされている。今回12カ所指定された。豪雨にもかかわらず水害のおそれの高い場所も指定された。適切だったのか。

**答**

中西総務課長  
避難所の選定基準は特に設けていない。災害対策本部会議で適切に選定する。

**答**

町長  
下竹荘公民館は合流地点であり問題もあると思う。雨量や河川の状況を見ながら適切に判断したい。

必要な避難者・被災者への心くばり

**問**

避難所における飲食料の確保に問題があった。炊き出しも遅かったのではないか。非常用のアルファ米を使わなかったのはなぜか。また、避難者、被災現地での職員対応は被災者の心情に寄り添い心くばりをすべきではないか。

**答**

総務課長  
7日朝の食料が確保できない状態となった。炊き出しはもう少し早く対応すべきだったかもしれない。アルファ米を使わなかったのは最終手段として残した。避難者、被災者への配慮ある対応は徹底したい。

土砂流入の除去補助制度を求める

**問**

家屋・敷地への土砂流入に対して、近隣の美咲町、高梁市には土砂等除去費の補助制度がある。早急に制度を策定すべきではないか。

**答** 町長

今後、被災弱者に寄り添った政策は何か、について検討したい。

ため池決壊の未然防止対策

**問**

ため池の危険はたびたび指摘されている。危険度のランク付けはおこなっているか。今回の豪雨で国が調査に入ったと聞くが、決壊未然防止に関する国、県との連携、予算措置はどのように進んでいるか。

**答**

河内建設課長  
町内198のため池危険度は、A、B、Cの3ランクに分けている。今回の豪雨により西日本各地でため池が決壊し、被害が発生した。農水省が7月中旬から8月にかけて現地調査をおこなっており、応急措置が必要なため池が1カ所判明した。補強整備事業など、今後国、県の予算を活用しておこなう。

そのほか、ハザードマップの照合と有効活用、災害時における地域自治会との連携を質問した。



# 7月豪雨災害の状況は

## 記録に残る甚大な被害



草地 博

**答**

は、農地災害447件、施設災害337件、合計784件の被害が発生した。

### 国の災害査定

**問** 国の災害査定は、実情に沿うものとなっているのか。

**答** 町の災害査定は、状況は、河川災害9件、町道災害83件を受検予定。この内、緊急を要する道路災害20件は、既に認定を受けている。また、農地農業用施設災害箇所は、784件の内、農地災害35件、施設災害76件を受検予定している。おおむね被害状況に沿ったものと考ええる。

**問** 7月豪雨の総雨量は、330ミリと聞くが、町の実態はどうだったのか。

**答** 山本町長

豪雨の状況は、総雨量は333ミリで、一時間雨量29ミリ、24時間雨量が最大217ミリとなり、記録に残る甚大な被害となった。また、被害状況は、河川関連が18件、道路関連が342件、合計360件であった。

農地農業用施設災害で



頻繁におきる増水が怖い

### 激甚災害の問題や課題点

**問** 被害の検証結果をどう受け止め、県への要望を考えているのか。

**答** 町長

県管理の道路被災箇所は46件の内60%が崩土による通行障害であり、河川73件の内85%が護岸崩壊

を占めている。また、河川では土砂堆積が多く見られるため、県に対し浚渫工事を要望していく。

### 国道整備計画

**問** 町内の国道改良の本年度事業計画と、今後の取り組みは。

**答** 河内建設課長

本年度、国道429号では防災工事を3カ所で計画し、国道484号では吉川、湯山地区で幅広路肩整備を予定。

今後は、事故多発箇所の解消など、安心、安全に走行できる道路整備を要望していく。

### 県道整備計画

**問** 県道工事の予定は。

**答** 建設課長

県道工事では、吉川横谷線など現在7カ所で改良工事を進めており、新規に高梁御津線の現地測量を予定している。

今後、道路防災工事を始め、継続的要望をおこない、幅員狭小、線形不良箇所の解消に努める。

### 町道整備計画

**問** 実施状況と今後の計画、完成予定は。

**答** 建設課長

町民の利便性向上や緊急性、危険性に配慮しながら、今年度は4路線で工事をおこなっている。

### 岩倉公園整備

**問** 展望台撤去に伴う眺望確保、また雑草木の伐採など円城財産区の管理は。

**答** 町長

地域の意見を踏まえ、雑木の撤去など、景観整備を進める。また、財産区議会へ諮り早期対策に努める。

そのほか、災害時の停電対策について尋ねた。





丸山 節夫

## 問 中山間直接支払制度の高齢化対策は

## 答 複数集落の連携を強化

**問** 過疎化や協定者の高齢化により、協定活動継続の不安が深刻化しており、大幅な協定数の減少や交付面積の縮小、荒廃化が懸念される。今後の制度活用と運用を尋ねる。

**答**

山本町長

県下トップの活用実績であるが、集落協定の高齢化や人口減少の進行を踏まえ、女性や若者の参画、複数集落が連携する活動体制を進める。

また、超急傾斜地に対する生産活動支援や集落の維持強化を図る。

### 農業応援事業の取り組み

**問**

国は、還元率の高い豪華な返礼品を続ける自治体に対し、制度を見直す方針を公表した。

町は、新たな取り組みとして、農機具購入補助支援策など寄付金の具体的使い道や町のさまざまな波及効果を分かりやすく開示してはどうか。返礼品プラス納税目的に即した寄付者の理

解や関心を高めると考えるが、今後の取り組みを尋ねる。

**答**

杉原協働推進課長

平成20年度、税制改革により創設された画期的制度であり、寄付者の意向を尊重した町づくりが自治体に求められる。事業の趣旨や内容、成果の明確化や寄付者との継続的繋がりが必要。頑張る農家応援事業支援策事例から、寄付金使途の公表、納税制度や町の施策への理解者を増やしたいと考える。



ふるさとの味を全国に届けてください

### 介護保険制度の取り組み

**問**

今年度の7期計画開始から総合事業移行の問題、課題点を尋ねる。

**答**

石井福祉課長

増え続ける保険料対策として介護保険の健全運営に努め、総合事業での介護予防を推進する。

新制度の移行では、町民への浸透性や説明が不十分であったが、今後は個別訪問や地域サロン、集いの場に出向き説明し理解を求め

### 介護保険料の動向

**問**

町の介護保険料は、県下でも高い位置で推移する中、改善に向けた移行措置がなされた。事業効果から見る平成29年度の執行状況と30年度予算執行の動向を尋ねる。

**答**

福祉課長

平成29年度給付額合計は18億4947万円、平成30年度は18億6355

万円を見込む。また、介護医療院の新設に伴い今後の動向に注視する。



身体を動かして元気な毎日

**問**

利用対象者の実態把握とケア対策。総合事業利用対象者の実態把握と地域ケア会議、対象者への報告会など、事業に反映しているのか。また、6カ月卒業後のケア対策を尋ねる。

**答**

福祉課長

定期的訪問をおこない状況の把握に努める。ケア対策では、サロン、はつらつ元気体操の普及や通いの場、ふれあい荘活用などのサポートをおこなう。

そのほか、小学校教室空調設備の必要性について質問した。

## 問 災害対策本部の対応は

## 答 状況に応じて早めの対応



西山 宗弘

**問** 7月豪雨災害時の災害対策本部設置について、特別警戒から対策本部設置までの流れを尋ねる。また、避難所などでの公民館職員や地元の組織への連絡や発令など、今までの流れを変える考えはないのか。

**答** **山本町長**

その時の状況によつてはマニュアルなどおりにできない。その時その時の状況によつて早め早めの対応を肝に銘じてとつていこうと考えている。

### 消防団との連携

**問**

消防団は火災や災害発生時には町とタイアップしながら町民の人命、財産を守るということは承知しているが、今回の消防団の対応は機庫への待機などはおこなわれていたが、消防自動車による避難指示広報がされていない部があった。

地元の地理に詳しい消防団による避難広報活動は有

効と考えるが、行政側から指導や要請をすべきでは。

**答** **町長**

特別警戒以上の体制では団長、副団長が災害対策本部の一員として災害発生状況などの情報を共有し、必要に応じて消防団が対応している。

### 予算執行の遅れの要因

**問**

3月議会で予算が決定したら4月から予算が執行される。近年遅れがちになっているように思われるが遅れの要因を尋ねる。

**答** **町長**

今年度は、災害対応などにより部分的に多少



地域の安心・安全の要「消防団」

の遅れが生じているが、概ね順調に執行できていると考えている。事務手続上の遅れがあるとすれば、早めの着手を徹底していききたい。

当初予算の範囲内で執行可能な場合、早期に対応するよう努めている。予算不足の場合は補正予算案を提出し、議決後となるため一定の期間が必要となる。緊急性の高いものは早期に補正予算を提出し、早期の完了に努めていきたい。

大事な公金なので、身を引き締めて出勤しなければと考えている。また、最少の経費で最大の効果を上げなければと思っている。

### 公共交通のあり方

**問**

岡山医療センターの便の利便性の有無と、車両や乗務員、費用の整合性に無理が生じているのではないのか。

**答**

**中西総務課長**

吉備高原都市から岡山医療センターを35分程

度で結ぶ直行便は、町民の利便性の向上、病气などの早期治療に寄与できると考えている。

車両は加賀中学校スクールバス1台の使用を基本としている。使用できない場合は町有バスなどで対応する。乗務員は1日当たり2人で対応する。

**問**

スクールの登下校のためのものではないのか。また、乗務員は生徒の送り迎えと医療センター便では労働時間超過にはならないのか。

**答** **町長**

町の公共交通会議などでさまざまな角度から協議をおこない、議会へ報告している。また、スクールの有効活用の声もある。

色々問題もあるが、町民の交通便利性を高めることが大きな目標である。

そのほか、有害鳥獣対策、教育行政などについて質問した。



# 追跡

あの時の質問  
どうなってる？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。  
(平成26年12月定例会の質問)



捨てればゴミ、回収すれば資源、あなたはどちら？

## 質問

資源ごみ回収（廃品回収）報奨金は合併時の1kg3円のままで、近隣市町に比べ著しく低い。大幅に引き上げるべきではないか。

## 答弁

他市町の金額を参考に、予算全体をみて判断したい。

## その後（住民課）

他市町のコストを参考に検討し、平成27年4月1日より報奨金の額は対象品目1kgあたり5円としている。

## 質問

長野県北部地震（26年11月）では、地域の強い結びつきや連携によって死者0人の村があった。日頃から地域の結びつきを深めることが大切ではないか。また、避難場所の見直し、危険区域の調査や対策は怎么样了。

## 答弁

さまざまな取り組みで防災意識を高めていきたい。

道路や裏山の危険箇所は担当課が調査し、必要に応じて対策を実施している。

## その後（総務課）

自治組織代表者会議などを通じ自主防災活動の強化をお願いするとともに、活動の支援をおこなっている。危険区域の見直しは22年度から5年間、県とともに調査しハザードマップを全戸配布している。28年度からは5年間の計画で、県とともに土砂災害特別警戒区域の全町調査を進めている。



避難訓練に積極的に参加して、地域防災力を高めよう

## 知って 町の体育施設

スポーツの秋がきました。町民のスポーツと体力づくりの推進を図り、健康的な生活を向上するため町内には、「かもがわ総合スポーツ公園」「かもがわ武道館」「吉備高原グランド・ゴルフ場」の施設があります。利用状況は、次の表のとおりです。

名称	27年度	28年度	29年度	
かもがわ総合スポーツ公園	野球場	7,908	5,670	6,877
	多目的広場	6,949	2,850	3,289
	テニスコート	2,765	1,785	1,508
	体育館アリーナ	5,970	7,268	6,928
	トレーニングジム	1,058	742	549
かよう総合スポーツ公園	グラウンド・ゴルフ場	6,427	6,205	4,589
	野球場	7,617	5,126	4,981
	サブグラウンド	2,485	2,689	2,977
体育館	5,527	2,797	4,730	
かもがわ武道館	1,080	1,060	960	
吉備高原グランド・ゴルフ場	1,780	1,707	4,478	
※グラウンドゴルフ年会員	180	192	168	

### かもがわ総合 スポーツ公園



野球場は、両翼90m、センター115m、照明6基でナイタープレイも楽しめます。

多目的広場では、ソフトボール、サッカー、ゲートボールなど多目的に利用できます。広さはソフトボール2面、陸上競技用200mトラックが取れます。グラウンド・ゴルフ場は、公認8ホールが整備されています。

体育館アリーナは、バレーボール(男子9人制、2面、6人制:最大3面)、バスケットボール1面、バドミントン6面、フットサ

ル1面が取れる広さです。自然光を多く取り入れ、とても明るいアリーナとなっています。

テニスコートは、コート4面、全天候型でオムニコートです。各コート6灯照明でナイターも楽しめます。

トレーニングルームは、眺めの良い部屋でランニングマシン、バイクなどの有酸素系のマシンや各種筋力トレーニングのマシンを揃えています。体脂肪計などもあります。

### かよう総合 スポーツ公園



野球場、運動場、体育館があり町内の方だけでなく、

く、町外の方も利用できます。岡山自動車道賀陽ICより車で5分とアクセスも良く多くの方にご利用いただいています。

### かもがわ武道館

下加茂にあり、館内は、畳が敷かれ約4畳の広さがあります。

空手の少年団が週2回程度利用され、年1回程度は、流派の大会が行われています。

### 吉備高原グランド・ ゴルフ場

吉備中央公園内にあるグランド・ゴルフ場は、2コース(全面芝)が整備されており、グラウンドゴルフ協会の認定コースにもなっています。

また、休憩所には障害者用トイレも整備されています。駐車場もあり、10台止めることができます。

## 編集後記

皆さんは「避難」を考えたことがありますか。

どうせ避難をしても大した被害はないから。避難所は面倒だから。避難する手段がないから。人それぞれ避難しない、できない理由はさまざまです。

でも、大切な家族を守るため。そして一緒に暮らす、あるいは離れて暮らす家族にとって、大切なあなた自身を守るため。「避難」について、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

そして、もしもの時には勇気を持って「行動」。

そんなことを避難所に泊まりながら考えた、今年の暑い暑い夏の夜でした。

(黒田員米)

